

7 月度 ^{例会} 山行報告書		報告者	小久保 (聡)	参加 メンバー	CL: 吉田 SL: 杉本 亀山・竹内・天野・江頭 岸上・飯谷・小久保 (聡) 渡辺 (勝) → 単独にて
個人		報告日	8/26		
山 域	南信州	山行日	2009 年 7 月 11 日 (土)		
山 名	大川入山				
山行目的	夏山山行を歩荷しながら楽しむ		コースタイム (天候: 天気図記号)		

配布先	ルート図 (地図を見て正確に)
集会:12	
山行: 1 リーダー	
原紙:集会 担当者	

ルート図 (地図を見て正確に)



2.5 万分の 1 地図:

7/11 晴れ
7:05 N1 駐車場発
8:20 恵那峡 SA 着
8:30 恵那峡 SA 発
9:15 こまくさ駐車場着
9:30 登山口発
10:10~20 一本
10:30 横岳頂上(1,574m)
11:00 渡辺さんと出会う
11:20~25 一本
12:25 大川入山頂上着 (1,908m)
13:00 大川入山頂上発
14:15~25 横岳頂上(一本)
15:08 登山口着
18:15 N1 駐車場着

〈山行報告〉朝 7:05 刈谷出発。「胸騒ぎの～腰つきい～」筆者が乗った竹内車の BGM は、山へ行くのにサザンである。恵那峡 SA でトイレ休憩した後、9:15 こまくさの駐車場に到着。真横の登山口から入山。後方より亀山さんに「川中さん！」と呼びかけられる。「私、小久保ですけど！(笑)」どうやら違いがわからないらしい。40分後、前方に別パーティーがいて少し詰まっているあたりで杉本 SL がザックをおろした。「もうちょっと行ったところで休憩しようかと思うんですけど～」後方より吉田 CL が声を掛けるが、杉本さんは当日朝自宅で腰を痛めたらしく、かなりしんどそうな顔をしている。そして亀山さんは腹の具合が悪いらしく下のほうへ消えて行った。体調が悪いのに山へ登る先輩方のタフさに言い知れぬ感動を覚えた。前回の高鳥屋山で経験した大量のハエですが、今回は全く登場せず油断しておったところ、休憩後数匹の黒い影が顔の周りをウロウロし始めた。まさか！と思って後ろを振り返るとハエ人気 No. 1 の天野さんが近くに。さりげなく距離をあけた筆者であった。程無くして横岳頂上に到着。ベンチがあって少し広がっているがそのまま通過。30分後、森がひらけて明るい日差しが入り始めた頃、下山中のナベカツ先輩に遭遇。「もう 1 回一緒に登りましょう！」と手を引いたら「か、勘弁してくれえー」と汗だくで抵抗された。しばし談笑後、ナベカツ先輩と別れ、再び頂上を目指す。周りの木々が低くなり、なんとなく頂上らしいところが見え始めた頃、中高年のパーティーが下山してきて「もうすぐですよ！あと 10 分！！」と声を掛けてきた。「ヤッター。今日はさほどしんどくなくて助かった～」しかし、登っても登っても頂上に着かない。さっきの励ましはウソだったようである。結局 20 分くらいで頂上に到着。皆昼食をとる。ここで、車内におにぎりを忘れてきたことに気付く筆者 (入道ヶ岳に続き 2 度目)。皆さんが食べ物を分けてくれた (申し訳ないです!)。竹内さんのミニ三脚を使って集合写真を撮ろうとすると、後方で杉本 SL がおしりを向けている。よく見ると、歩荷用のタンクから水を捨てていた (ご本人曰く、植物に水をやっていただけのこと)。みんなに非難されながらも WISH ポーズで写真におさまる SL が眩しかった。そういえば頂上で T 車体のパーティーに会いましたがやたらと年齢層が若かった。あの人たちは一体何者だったのでしょうか？下山時は木の根が浮き出ている所以外は比較的歩きやすく、無事駐車場に戻ってこれた。ここで吉田 CL と江頭さんの会話が少し聞こえたのですが、「今から宿り木の湯へ行きます」「えっ？ヤドカリ？」不覚にも笑ってしまった筆者であった。楽しい山行で良かったです。社内登山大会に使われたというのも納得でした。

確認
(リーダー)

吉田
09/07/30

作成
(報告者)

小久保
08/07/28

〈リーダー所見〉
梅雨の時期にもかかわらず好天気恵まれ、絶好の山行日和となりました。初めて CL を務めさせていただきましたが、一本休憩の声かけをいつしたらいいかなど戸惑うこともありましたが、いい経験となりました。
また、夏山合宿を意識して歩荷訓練をするメンバもいて、いいトレーニングにもなりました。

